道徳学習指導案

京都市立　　中学校

指導者　中山　芳明

１．指導日時　　平成２７年　１０月　　日　　　限（　:　～　:　）

２．主　題　　　人間の気高さ，生きる喜び　D（２２）　国際理解　C（１８）

３．資料名　　　「国境なき医師団　貫戸朋子」

　　　　　　　　参考：「別冊課外授業　ようこそ先輩　国境なき医師団　貫戸朋子」

　　　　　　　　　　　NHK「課外授業　ようこそ先輩」より

４．指導学級　　　２年　　組

５．主題構成の観点

　主題の要点　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導の要点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあり，そこに人間として生きることの喜びがある。 2. 中学生の時期は，なかなか自分に自信が持てない一方，人間のもつ気高さを追い求める心もある。 3. 人間としての生きる喜びとは，人から認められる喜び，崇高な人生を目指し，共に生きていくことへの深い喜びである。 |  | 1. 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることに気づかせる。 2. 中学生の時期はなかなか自分に自信が持てないが，よりよく生きたいと願う気持ちを肯定する態度を育てる。 3. 人間としての生きる喜びとは，他者と関わり，そこから認められることで生きていくことの喜びであることを実感させる。 |

　生徒の実態 　　 　資料の要点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 人間の中にある気高さを信じ，憧れをもっている。 2. 充実した生き方を模索し，よりよく生きたいという思いをもっている。しかし，まだ他者との繋がりの中でどんな生き方が充実した生き方かには思い至っていない。 3. 人から認められたい思いは強く，他者から肯定されることで，｢生きる喜び｣を実感できる。 |  | 1. 国境なき医師団に参加した貫戸朋子さんの気高い意志に触れる。 2. 貫戸さんが国境なき医師団に参加した経緯を知り，充実した生き方が他者とのつながりにあったことを知る。 3. 自分の責任，目の前の命を救うことから逃げ出さないことが，｢生きる喜び｣につながり，他者との支え合いにつながる。 |

６．ねらい

　この資料は京都市出身の貫戸朋子さんが日本人で初めて国境なき医師団に参加した経験をもとに構成した実話である。苛酷な医療活動を通して，他者の喜びを自らの生きる喜びの実感へとつなげた貫戸朋子さんの生き方から，｢いかに生きるか」，｢どう生きれば充実した生を送れるか」という道徳的心情を培う。

７．指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学　習　活　動 | 発問と予想される生徒の反応 | 指導上の留意点 |
| 導入  ３分 | 授業開始時点での「人生における損得について」の考えを確認する。 | 導入発問「どんな人生が『損』だと思いますか」  ・お金がない　　・責任が重い  ・仕事がない　・楽できない  ・好きなことができない | 活発に意見を言いやすい雰囲気を作る。 |
| 展開  5分  15分  15分  7分 | 資料「国境なき医師団　貫戸朋子」を配布して黙読する。  発問①について考え，個別で記述したのちに黒板に意志表示し，（→ネームカードを使用※ただし「０」はなし，「わからない」は思考停止だから）机を合わせてグループ協議を行う。その後，全体で意見交流を行う。  机を戻して発問②について考え，記述する。そのあと，順に発表する  「他者との関わり」という考えから発問③「生きる喜び」についての考えをまとめる。 | ・酸素ボンベのエピソードに反応  　「切る」「切らない」の決断  発問①「あなたは貫戸朋子さんの生き方を得だと思いますか。損だと思いますか」  　得→人生でのかけがえのない宝　　　物を手に入れた  　　　　　生きている意味を感じられている  　損→経済的に安定していない  将来が不安  つらい思いをしている  発問②「貫戸さんが受け取った『人生の宝物』とは何だったのでしょう」  　・患者の笑顔  ・命を助けられた場面  　・お礼を言われたとき  発問③「『生きる喜び』につながる生き方とはどんな生き方だと思いますか」  ・他人を助ける生き方  ・他人に喜んでもらう生き方 | ここで生き方の是非ではなく損得をとりあげることで，後の｢生きる喜び｣の心理に迫る布石とする。  班単位で活発に交流させ，できるだけ多くの生徒に発言させる。  実話であることを念頭に置かせ，損なように見えて，貫戸さんが多くのものを受け取っていることに気づかせる。  「生きることの喜び」には他者との関わりが大きいことを知らせる。 |
| 終末  5分 | 今日の授業の感想をまとめる。 | しっかり考えを定着させる。 | 回収し，クラス便りで交流する。 |

８．評価

1. 「生きる喜び」について，自分なりの立場から真剣に考えることができたか。
2. 他者者の意見に耳を傾け，自分の道徳的価値について，交流・研鑽できたか
3. 人間は共に寄り添い，その苦しみ，痛みを支え合うことで生きていることを知り，また他者の支えとなることも自分の｢生きる喜び｣につながることを知ることができたか。

道徳「国境なき医師団　貫戸朋子」

発問①　あなたは貫戸朋子さんの生き方を得だと思いますか，損だと思いますか。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | | | |
| 得だ |  |  |  |  | 損だ |
| 100％ 　　 50 　 　　0 　 　 50 　 　100％  自分の考えた理由・・・  みんなの意見で印象に残った意見 | | | | | |

発問②

|  |
| --- |
|  |

発問③　「生きる喜び」につながる生き方とはどんな生き方だと思いますか

|  |
| --- |
|  |

発問④　今回の授業を終えて。　　　　　　　　　　　　　　　　　 　とても ← ふつう → ぜんぜん

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①　共感・感動することがあったか | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| ②　深く考えることができたか | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| ③　自分のこれからの考え方に影響はあったか | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| ④　考えたことを大切にしていこうと思えたか | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| ⑤　教材資料は心に響いたか | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 今日の授業で（　　　　　）について考えたことを書きましょう。 | | | | | |

２年（　　）組（　　）番　（　　　　　　　　　　　　）